## 区民響20年のあゆみ

西暦	常任指揮者	活動内容	社会の出来事
1986		黎明期	チェルノブイリ原発事故
		1986年5月、港北区の主要事業計画のひとつとして「区民オーケスト	
	藤崎 凡	ラの育成」という記事が広報に掲載された。これをきっかけに区民に	
	プ。ロローク゛	よる手作りのオーケストラを作ることを目指し、関係者の多大な苦労	
	コンサートから	を経て区民響は誕生した。当初は入団希望者をすべて受付けたため、	
	第5回	フルートが 18 人存在するなどかなり偏った編成であった。団の名前	
	定演まで	を「交響楽団」としたのは、交響曲を演奏することを目標とするオー	
		ケストラになろうという決意によるものであった。	
1987		◎プロローグコンサート 5月	国鉄分割・民営化
		シューベルトの未完成をメインに他、小品を数曲披露。譜面台は持	JR 創業
		ち寄り、楽譜は借り物、コンマスや一部の管楽器奏者達もエキストラ	
		で賄っていた。	
1988		◎ 第2回定期演奏会 5月	リクルート疑惑
		各パートほぼメンバが揃い、オーケストラの形に。またこの時か	
		ら賛助会員制度を始めた。初回会員は 34 名。この後約 10 年間、40	
		~60 名の間で増減。	
1989		◎ 港北区区政 50 周年記念式典 4 月	昭和天皇崩御
		窮屈な思いをしながらも公会堂の <u>ステージ上</u> で演奏。	
		◎ 機関紙発行開始 5月	
		当初は「楽団新聞」として発行。その後「ぽこあぽこ」となる。	
1990		<i>青年期</i>	東西ドイツが統一
		年2回の定期演奏会は定着していったが、なかなか公会堂を満席に	
		するには至らなかった。練習場所も公会堂以外の施設が不足してい	
	横山 俊充	て、近隣の中学校や区役所のロビーを借りて行なうこともあった。	
1991		◎ ファミリーコンサート 11月	千代の富士引退
	第6回	当時団員であった Hr.中村洋一氏の編曲による「世界音楽の旅」を	若貴ブーム
	定演から	演奏。この頃より少しずつ活動の場を広げていく。この公演はやがて	
	第 13 回	3年後の「サマーファミリーコンサート」や「親子コンサート」へと発展	
	定演まで	していく。	
		<ul><li>◎ 第9回定期演奏会(5周年記念)12月</li></ul>	
		ソリストに堀了介氏(菊名在住)をお迎えしてドボルザークの Vc.	
		協奏曲を共演。3楽章の途中、危機(!)が訪れるがメンバの機転により	
		回避。初めて会場を公会堂から県立音楽堂へ移す。	2 1 - 32 3 5
1993		◎ 安藤為次記念賞 受賞 12月	皇太子がご成婚
		神奈川県下において優れた教育文化活動を行なっている団体に対	
		して授けられる賞で、区民響は地域の文化活動に積極的に参加してい	
		る事や区民の支持が大きく質の高い演奏を無料で提供している事な	
		どが評価された。賞金 50 万円	

西暦	常任指揮者	活動内容	社会の出来事
1994		充実のとき~円熟期	向井千秋さん
		徐々にではあるが着実に発展してきた区民響は、さらに充実したオ	宇宙へ
	白河 和治	ーケストラへと変貌を遂げてゆく。	
1995		◎ 第 17 回定期演奏会 11 月	阪神大震災
	第 14 回	阪神地区の市民オーケストラ再興支援のための義捐金を募り寄贈。	
1997	定演から	◎ 第19回定期演奏会(10周年記念)1月	ダイアナ事故死
	第 39 回	メインは第1回定演と同じ新世界。県立音楽堂がほぼ満席になる。	
	定演まで	◎ 区民響ホームページ開設 10月	
		◎ 港北芸術祭 オペラは楽しい 11月	
		3人のソリスト三縄みどり(s)、二階谷悠介(T)、小栗純一(B)をお招	
		きして、オペラのアリアを中心に。三縄氏は今回の第九でも共演。	
		この年は12月のファミリーコンサートも併せて年4回公演となる。	
1998		◎ サマーファミリーコンサート 7月	長野オリンピック
		6 月にオープンしたばかりの、みなとみらいホールへ進出。(アマ	
		オケでは2番目)賛助会員も一気に倍増する。(142名)	
1999		◎ 港北区区政 60 周年記念 リクエスト・コンサート 10 月	2000年(Y2K)問題
		この演奏会の模様は YOU テレビ(ケーブルTV)にて放映された。	
		賛助会員は最大の 214 名に。	
2000		◎ 夏休み親子コンサート 8月	二千円札発行
		子供たちにオーケストラの生演奏を!との要望から始まった演奏	
		会。初回から大盛況で第2回からは1日2回公演となった。現在では	
		定期演奏会と並び区民響の主要な演奏会となっている。	
		みなとみらいホールへ初進出以降、定期演奏会は港北公会堂と交互	
		に行なうようになり、より多彩なプログラムを組めるようになった。	
		やがて「オルガン」(1999)、「革命」(2000)、「幻想交響曲」(2002)と	
		いった大編成の曲にも挑戦していくこととなる。	
2004		◎ 第 33 回定期演奏会 2 月	鳥インフルエンザ騒動 
		みなとみらい線開通日(2/1)に「未完成」(!)を演奏。	
2005		◎ 第 36 回定期演奏会 5 月	郵政民営化法案可決   
		アランフェス協奏曲 公会堂で久しぶりのコンチェルト。ソリスト	
		のドタキャンに遭う。急遽代奏していただいた益田正洋さんには本当	
		に感謝しております。	
2007		◎ 第39回定期演奏会(20周年記念)2月	
		区民響は20年目にしてついに第九を演奏するに至った。しかし言	
		うまでもないが20周年は一つの区切りであって、区民響はこれから	
		も新陳代謝を繰り返しながら存続していくであろう。いやすでにそれ	
		は起こり始めている。 2007 年 1 月現在   賛助会員 185 名	